

令和8年1月1日、町制施行101周年目を迎えました

# 新たな時代の一歩を皆さんと共に



ネイチャーポジティブ宣言を行いました

## ネイチャーポジティブ宣言とは

自然環境の悪化が地球規模で進み、生物多様性の喪失が世界的な課題となっています。この流れを食い止め、自然の再生を目指すため令和4年に「ネイチャーポジティブ（自然再興）」が国際目標に設定され、国内においても「生物多様性国家戦略」が国の目標として位置づけられています。全国で宣言を行う自治体や企業が広まっており、金山町では12月町議会定例会の行政報告で宣言を行うことを報告し、1月1日にネイチャーポジティブ宣言を行いました。



▼全文はこちら



▲環境省HPはこちら



## 緑の憲章ロゴ

町制施行100周年にあたり、町の花としてカタクリ、町の鳥としてクマタカを選定し、緑の憲章ロゴを制定しました。特に絶滅危惧種であるクマタカが町の鳥として生息できる環境の維持は、町民の豊かで持続可能な暮らしにつながるものと考えています。

## 取り組み内容

- 自然がもたらす恵みと町民の幸福を守るため、生物の多様性に配慮した社会の実現を目指します。
- 金山町の自然環境がもたらす恩恵に感謝しながら森林資源を活かし、自然豊かな町として維持発展します。
- 生物多様性の重要性に気づき、自然と共生し、農林業を中心とした地域社会とゼロカーボンシティを目指します。

金山町長  
佐藤英司



新年明けましておめでとうございます  
新たな年が健やかで実り多い一年でありますように

新年明けましておめでとうございます  
新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

時間経過も早いもので、昨年の元旦には町制施行100年目を記念しての祝砲「のろし」を上げてから一年が経過し、101年目を迎えました。昨年は、特に夏場の異常な暑さと極端な少雨、そして場所を選ばないクマの出没に翻弄されたように思います。クマの出没は、県内あらゆる市町村で深刻な事態となつており、これまでより危険度合いを一気に高めました。これまで、関係者の協力をいただいて対応してきましたが、これからも取り得る対応を素早く、適切に取り組んでいきます。

さて、昨年秋に女性初の高市総理大臣が誕生して、内閣支持率も高い状況で推移しています。特に「責任ある積極財政」の考え方のとど、経済対策、物価高対策に注力しています。12月には大型の補正予算が臨時国会で成立しました。このうち、「重点

はじめ、歩行時や雪処理作業などの場面で危険度合いが大きくなります。危険な行動はできるだけ避けるとともに、日常の「気を付けて」などの声掛けをして、安全に過ごしてほしいと思います。そして、今年一年が、町民の皆さんにとりまして、健やかで実り多い一年となりますことをご祈念いたします。

「支援地方交付金」が市町村に交付されることで、物価高対策などの効果的な事業実施のため、年末に町議会臨時会で議論をしました。先に「町物価高対策町民応援券（美杉ちゃん券）」を配布したことから、今回は各事業所のエネルギー等物価高騰分や最低賃金高騰分の影響を考慮した支援を中心に実施していく予定です。それに、新年度予算での物価高対策も盛り込むことも想定して編成作業を進めたいと考えております。

時期としては、これからが本格的な冬到来です。雪に慣れている私たちでも、その降り方、積もり方は毎年異なり、対処は容易ではありません。自助、共助も可能な範囲でお願いし、それに公助も十分組み合せたい形で、厳しい冬を乗り切りたいと思います。さらに、冬は車の運転をはじめ、歩行時や雪処理作業などの

新年賀